

<p align="center">事業創造特殊講義Ⅱ（事業創造政策） Special Lecture on New Business/Entrepreneurship Ⅱ (Policy for New Business/Entrepreneurship)</p>	<p>(教員名) 新藤 晴臣、近 勝彦</p>	
<p>事業創造研究領域 特殊講義科目</p>	<p align="center">講義科目</p>	<p align="center">必修</p>
	<p align="center">1 単位</p>	<p align="center">2018 年度・後期</p>
<p>I 科目の主題 本講義は主に 3 つの研究テーマについて講義をする。その第一は、ICT ビジネス創造論であり、第二が社会の情報化に関することであり、第三はアントレプレナーシップ研究である。 まず、第一のテーマについては、ICT 産業の特殊性と普遍性について講義をする。その後、新しい ICT ビジネスの戦略と行動を考察する。さらには、ポストモダンのエコノミーを ICT を使って支援するビジネスモデルを講義したい。第二のテーマとしては、社会の安全や安心に ICT がいかに貢献するのか、さらには、コンテンツビジネスの意義と課題を探る。第三のテーマについては、アントレプレナーシップ研究の背景となる経営学の特性と研究方法を考察した後、その個別テーマについて議論を行う。</p>		
<p>II 授業の到達目標 受講生が、ICT ビジネスとアントレプレナーシップにまつわる研究を、方法論上の諸問題を踏まえて、的確に進めることができるようになることを目標とする。そのために本講義では、ICT ビジネスとアントレプレナーシップ研究に適用可能な社会科学の理論と方法を紹介する。</p>		
<p>III 授業内容・授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ICT ビジネスの特殊性と普遍性 2 ICT ビジネスの事業創造戦略と行動特性 3 EC による既存ビジネスの支援の可能性 4 コンテンツビジネスのネットワーク事業展開について 5 ポストモダンなエコノミーに属するビジネス創造について 6 情報投資の評価 7 情報経済論的アプローチとその分析 8 コンテンツ産業の公共政策 9 コンテンツ産業育成支援 10 コンテンツ産業と公営非営利セクター 11 経営研究と経営実践の相違 12 研究方法 1：ケーススタディー 13 研究方法 2：アクションリサーチ 14 テーマ 1：事業創造プロセス 15 テーマ 2：大学発ベンチャー 		
<p>IV 事前・事後の学習内容 受講生は、教員の指定する必読文献を入手して、事前に読んでいただき、事前課題に関する考えを整理しておいた上で、講義に臨むこと。</p>		
<p>V 評価方法 期末レポート(5割)、出席及び討議への参画姿勢(5割)で総合評価する。いずれかの評価が特に低い場合、合計が合格ライン(100 点満点換算で 60 点)を超えていても合格しないことがある。</p>		
<p>VI 受講生へのコメント 各自、問題意識を持って参画すること。</p>		
<p>VII 教材 講義の中で指示する。</p>		